

# バドリクルラ～基礎呪文の書～

## 説明書

ここは、魔法で彩られる世界。魔法使いは修行の日々。修行を積むと、次は腕の競い合い。その手法こそ、詠唱合戦。詠唱合戦では不思議な球体を用いる。それは宙を浮き、詠唱された魔法を蓄積していく。そして、蓄積された魔法は、詠唱を失敗した者に全て放たれる。つまり、詠唱合戦とは、より正確に魔法を唱えられる者が真の魔法使いとなる合戦なのである。



### 内容物

- カード全 36 枚
  - 魔法使いカード…4 枚
  - 呪文カード………32 枚
    - 4 属性 (火, 水, 草, 雷) 8 枚ずつ

### 準備した方がよい物

- 電卓
- タイマー (上級者ルールの場合)

### ゲーム勝利条件

先に呪文カードに書かれてある得点を 100 点集めた者の勝利。(ただし、進化等で消費した得点は含まない)

### ゲームの準備

- ①先攻後攻決めの後、先攻プレイヤーから順に好きな魔法使いカード 1 枚を選びます。
- ②後攻プレイヤーから順に好きな属性の呪文カードを 3 枚、裏向きのまま選び、手札にします (選んだ呪文カードに何が書かれてあったかは、手札にした時はじめて分かります)。

各呪文カードの裏面 (この状態のまま手札にするカードを選びます)



火属性



水属性

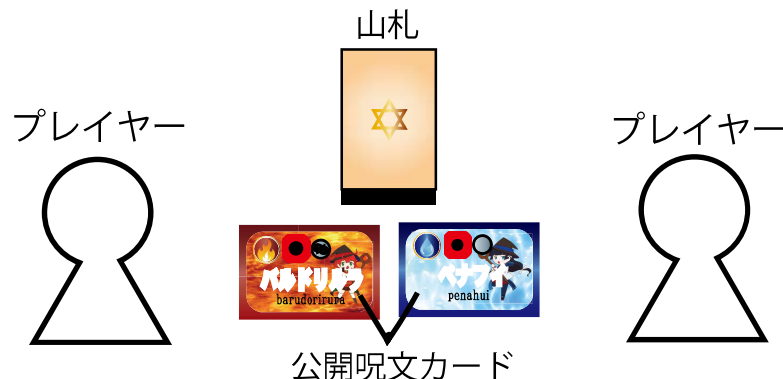


草属性



雷属性

- ③残った呪文カードを山札にしてシャッフルし、その後、その山札の上から 2 枚の呪文カードを場に公開させます (文字が両プレイヤーに見える状態)。なお、この 2 枚を「公開呪文カード」といいます。次の図のようになれば、いざゲームスタートです。



### ゲームの進め方

先攻から順に、プレイヤーは以下の一連を行動します。そして、誰かが詠唱失敗するまで、この行動は交互に繰り返されます。

#### 【一連の行動】

- ①自分の番となったプレイヤーは、まず自分の手札か公開呪文カード、どちらか好きな方 1 枚を選んで、両プレイヤー間の空いているスペースに、公開呪文カードと同じ向きで置きます。このとき、すでに、前の番より以前に【一連の行動 ②】の行動で詠唱された呪文カード (詠唱済み呪文カード) が並んでいる場合、その詠唱済み呪文カードの列の一番右端に並べます。ただし、スペースが限られている場合は、2 列目を用意しても構いません。
- ②置いたプレイヤーは、詠唱済み呪文カードも含めたそれら全てを声に出して左端から連続して読み上げます (詠唱)。ただし、詠唱であるため、遅すぎたり、噛んだりしてはいけません。なお、2 列目がある場合、1 列目を右端まで読み終えたら、そのままの勢いで 2 列目を読み上げます。3 列目以降も同様です。
- ③無事に【一連の行動 ②】の詠唱が済んだプレイヤーは、相手に手番を交代します。その際、もし自分が公開呪文カードを使用していた場合は、また新たな公開呪文カードを山札の一番上から用意してから交代します。なお、手札が増えることはありません。